



内定者の 声

令和2年度 入省予定
環境省一般職理工系

はじめに

「内定者の声」を手にとっていただきありがとうございます。本書は未来の仕事仲間たるみなさんの不安や疑問を解消するために、内定者の私たちが作成したものです。第一部では「内定者はどのような人か」、第二部では「国家公務員試験をどのように乗り切ったか」、第三部では「官庁訪問はどうだったか」について記載しております。ぜひご参考にしていただければと思います。

2020年1月
環境省一般職理工系内定者一同

【本冊子の構成】

第一部 内定者のプロフィール

- 基本データ
(学科/専攻、学歴、性別、試験区分など)
- プロフィール
- 就活スケジュール
- 志望動機
- 環境省を志している方へメッセージ など

第二部 国家公務試験採用一般職試験 体験記

- 試験区分などの基本データ
- 勉強内容・試験内容について

第三部 官庁訪問 体験記

※環境省 Web サイトでも公開しております。

http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_ra2/from_pe/index.html

《付記》

本冊子の内容に関する責任は全て製作者である内定者にあります。また、各人の考え方、勉強法などはあくまでも個人の見解です。ご理解の上ご覧ください。また、次年度以降の採用試験では、試験日時や英語試験の活用など、2019年度試験と一部違いがみられる場合もございますので、ご注意ください。詳しくは人事院国家公務員試験採用情報 NAVI (<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>) でご確認ください。

以上のことをご理解の上ご利用くださいますようお願い申し上げます。

第一部 内定者のプロフィール

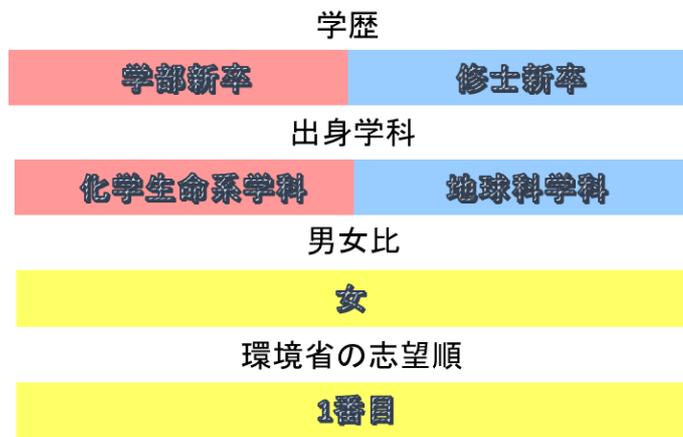
令和2年度入省予定の一般職理工系内定者は、**全2名**となりました。

第一部では、内定者のプロフィールや志望動機、メッセージなどを記載しています。

また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者のペンネームを使用しています。

本誌をご覧になっているみなさまの就職活動のお役に立てていただければ幸いです。

内定した私たちはこんな人！



説明会に参加した回数：**7回**

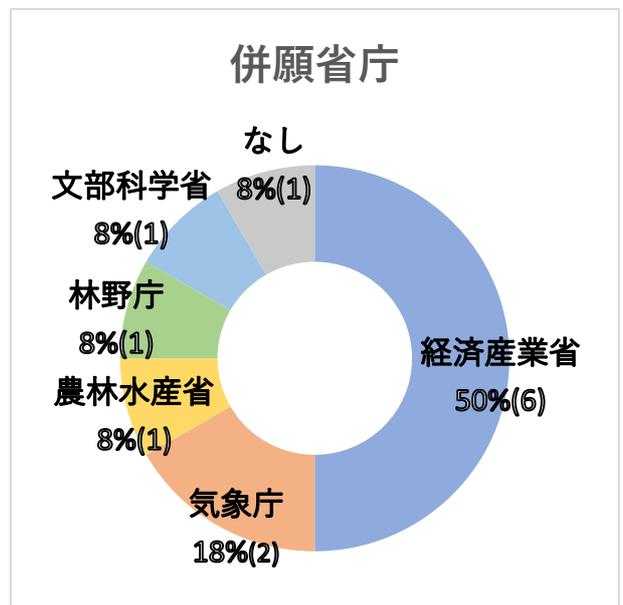
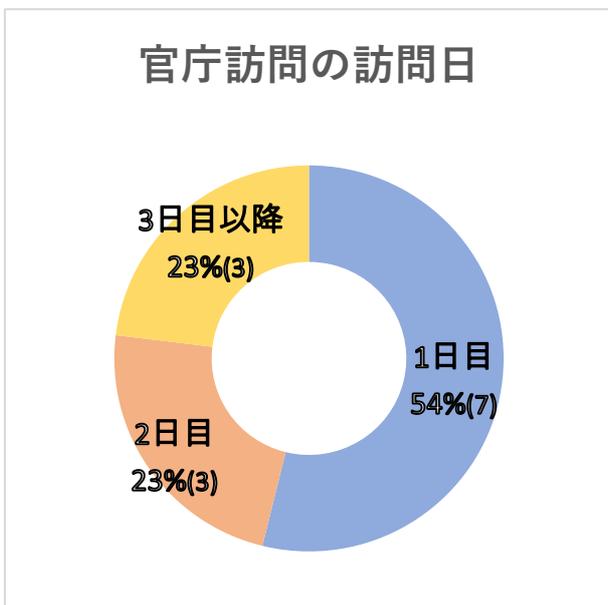
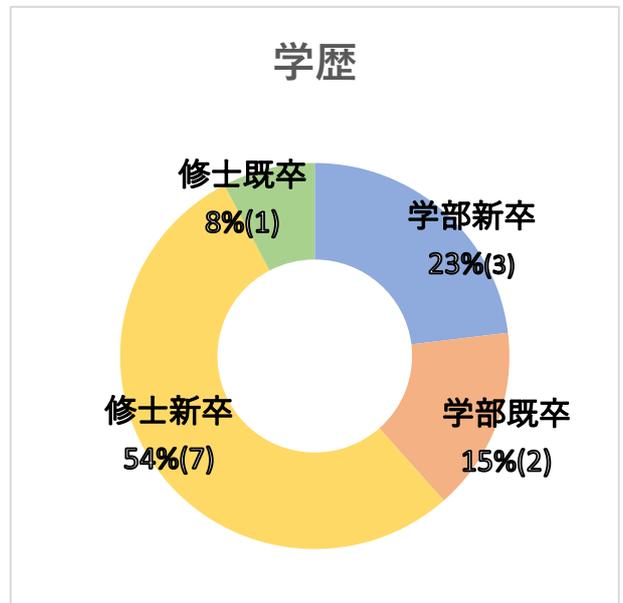
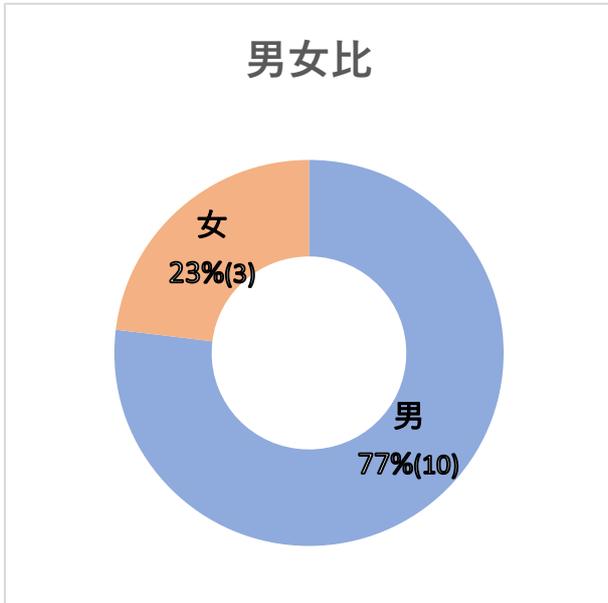
- 大学等で実施する学生向けの就職説明会
(人事院説明会や大学主催説明会等)
- 少人数相談会
(本省で実施する1～5名程度の学生向けの少人数の相談会)
- 政策シミュレーション
- 省庁合同説明会(官庁訪問前日)

説明会に参加した回数：**4回**

- 少人数相談会
(本省で実施する1～5名程度の学生向けの少人数の相談会)
- インターンシップ
- OBOG 訪問
- 省庁合同説明会(官庁訪問前日)

過去5年分一般職理工系内定者の基本データ

(グラフは過去5年間の統計を示しております。()内は実際の人数を示しています。)



大悟

修士新卒・女性・23歳

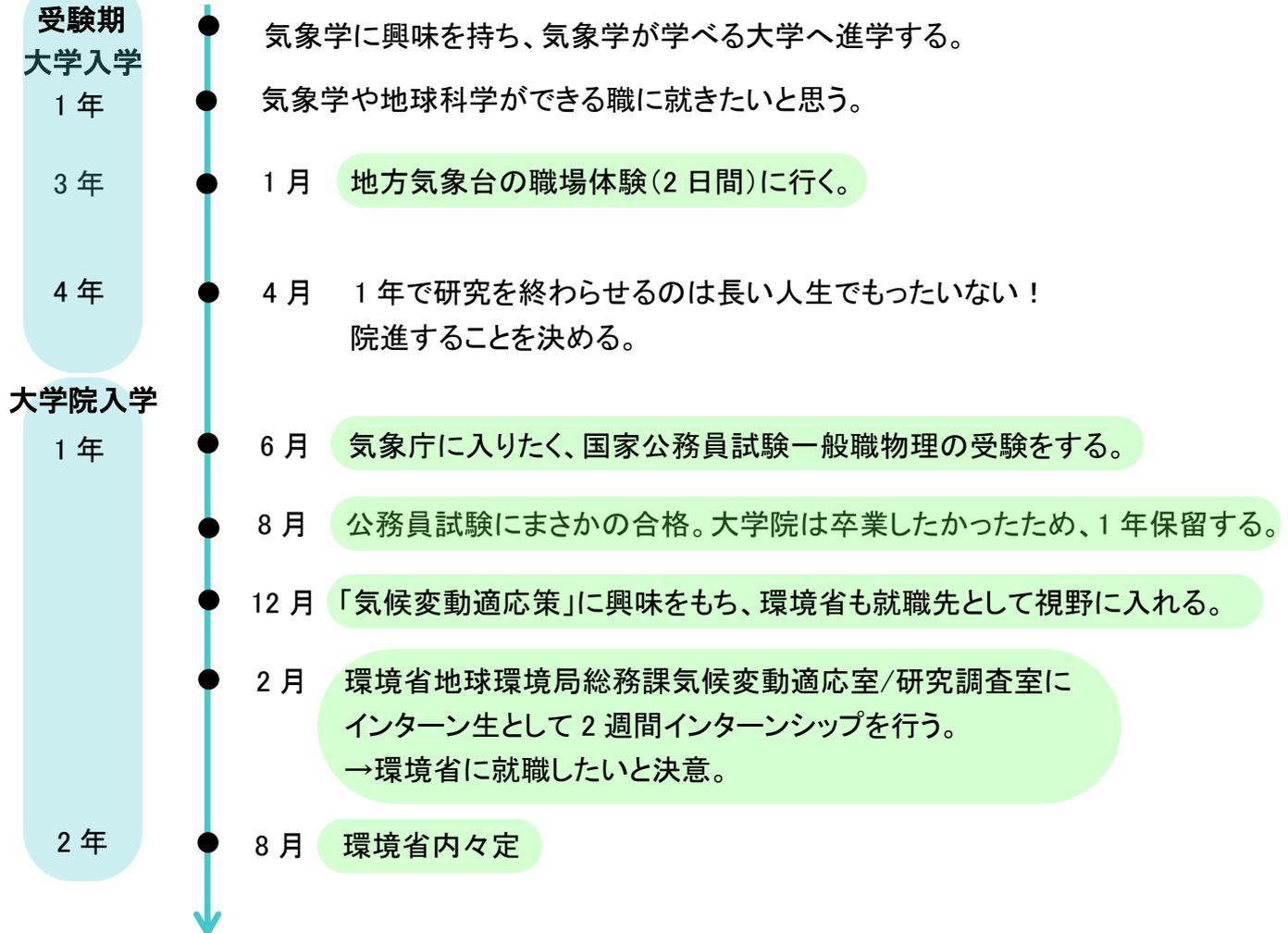
●プロフィール

試験区分 物理	大学所在地・学科・専攻 茨城県・理工学研究科・ 理学専攻	研究 都市気候
部活・サークル バレーボール同好会 地質情報活用プロジェクト	併願進路 教職	併願省庁 官庁訪問順 環境省→気象庁
説明会参加回数 4回	好きなもの ハロー！プロジェクト 横浜 DeNA ベイスターズ	座右の銘 思い立ったが吉日

●就活スケジュール

民間就活

公務員就活



●志望動機

小学生のころから天気や環境問題に興味がありました。大学では、気象学が学べる大学に進学しました。

学部生の時は、院に進学することを決めていたので、特に就職活動を行っていませんでしたが、大学3年生の時に友人に誘われて地方気象台の職場体験に2日間参加しました。ぼんやりと大学院を卒業したら気象庁に入るのもいいなと思いつき始め、国家公務員を目指し始めました。

研究を進めていく上で「気候変動適応レポート」を読む機会があり、環境省に興味を持ち始めました。ただ、環境省はどのような業務を行っているか想像もつかなかったため、大学院1年の2月に2週間、地球環境局総務課研究調査室/気候変動適応室にインターンシップに行きました。インターンシップに行けたおかげで環境省で働くイメージができ、仕事内容も知ることができました。

インターンに行ったことで、どの就職先にいくかとても迷いましたが、気象庁での職場体験、教員も目指していたので、教育実習、環境省でのインターンを天秤にかけたときに、一番働きたいと思ったところが環境省だったため、環境省を志望しました。

●就活を通しての成功談・失敗談

成功談としては、インターンに行ったことだと思います。やはり、環境省の職員の方々に顔を覚えていただいたことが大きいと思います。

失敗談は一般職に甘んじていたところだと思います。ちゃんと勉強して総合職を受けるべきだと思います。道はたくさんあった方がいいと思います。

●環境省を志望される方へのメッセージ

就職はある意味運だなと思います。志望動機で述べたように、私は教職や気象庁で働くことを志望していた時期があります。研究の一環で「気候変動適応レポート」を読まなければ環境省に興味を持つことも無かったし、インターンに行かなければ環境省で働きたいとも思わなかったと思います。内定者の声を読んでいる時点で環境省には興味があると思いますが、ぜひ色々な経験をしてください。そして環境省を選んだ際には一緒に頑張りましょう！

●同期への印象



とにかく可愛い。1人しか一般職の同期がいないので、大事にしたいと思っています。きっと都会に染まってしまうんだろうなと思っているのと同時にそれもまた楽しみだなと思っている自分もいます。

●同期からの印象

The マシンガン。(笑)
幅広いジャンルに精通しているので、とても話が面白いです。その場の雰囲気を一気に明るくするので、一緒に働くのが楽しみです!!



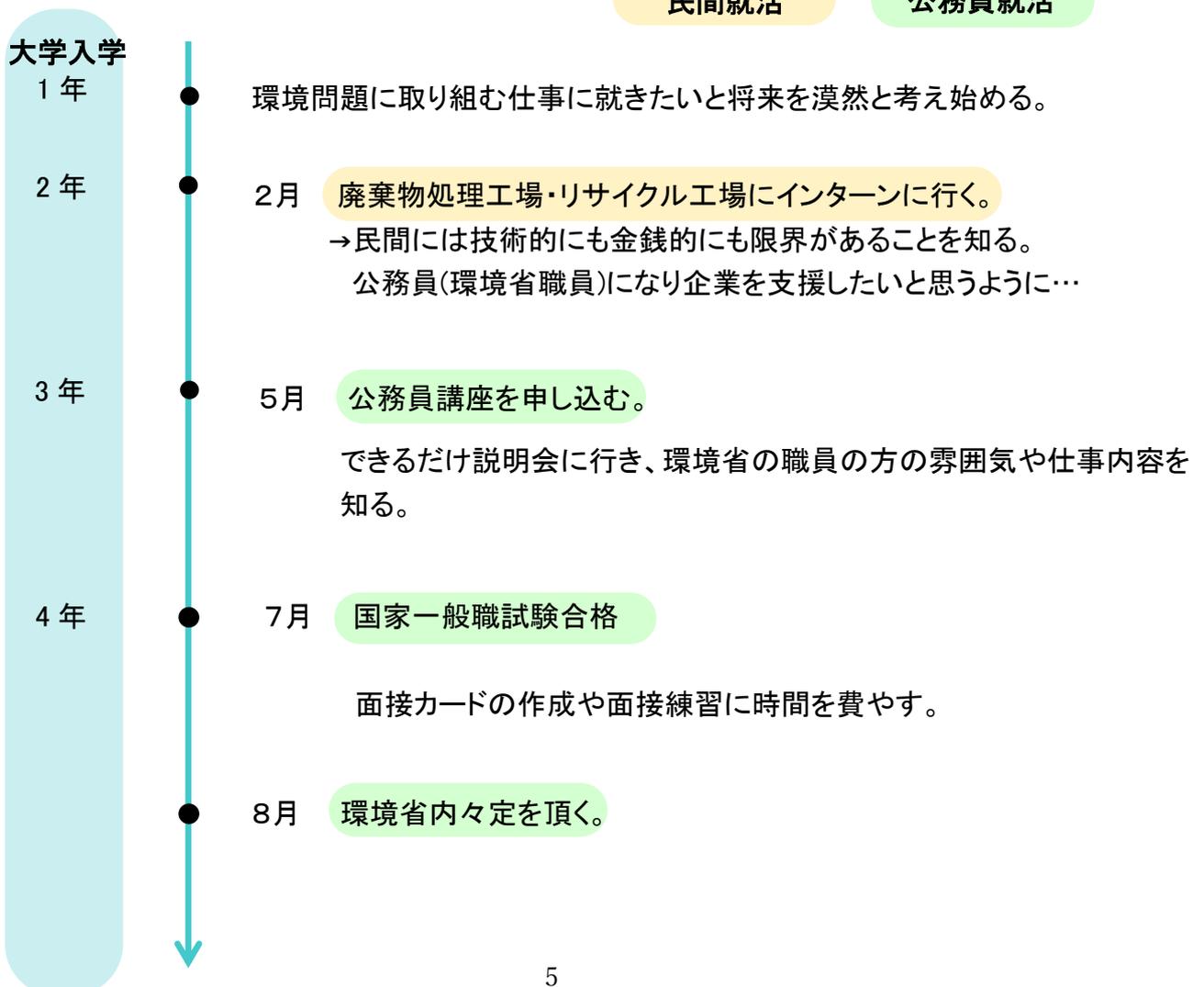
ノブ

学部新卒・女性・21歳

●プロフィール

試験区分 化学	大学所在地・学科・専攻 岡山県・工学部 化学生命系学科	研究 工業用の触媒開発 反応条件の確立
部活・サークル バスケット部	併願進路 地方公務員・大学院・民間	併願省庁 環境省 →経済産業省
説明会参加回数 7回	趣味 旅行・山登り・読書・ゲーム etc.	座右の銘 七転び八起き

●就活スケジュール



●志望動機

私は環境問題に取り組める仕事に就きたいと思い、最初は民間をメインに就活を始めました。民間で考えていたところは廃棄物処理の工場、リサイクル工場です。しかし、インターンに行ったところ、現状は十分に廃棄物のリサイクルが進んでいないことを知りました。会社の方に聞いたところ、技術と資金がないため…とのこと。その時、どの会社でも環境意識が高いにも関わらず、課題に取り組むことのできない現状を知りました。「**会社を支援して、もっと社会全体が環境問題に取り組める体制づくりに貢献したい!**」と思いました。そこから公務員という立場で環境問題に最前線で取り組んでいる環境省に志望するようになりました。環境省の説明会に行くようになり、実際に働かれている方の話を聞いて、環境だけでなく経済も支えていかなければいけない難しい仕事にやりがいを感じました。職員の方も明るい方が多く、職場の雰囲気も良さそうだと感じ、志望が固まりました。県庁も市役所も考えましたが、やはり**環境問題に対し新しい風を吹かすには環境省しかない**と思いました。

●就活を通しての成功談・失敗談

成功談

何度も説明会に足を運んで、多くの方の話を伺っていたことは本当に良かったと思います。説明会に行くまでは仕事内容や職場の雰囲気をイメージしにくかったのですが、分かりやすく丁寧に教えてくださりとても参考になりました。「環境省で働きたい!」という気持ちも説明会に行く度に高まって行きました。

失敗談

失敗…というか困ったこととしては地方の人間にとって交通費や宿泊代の出費が痛かったことですね。「一般職理工系」説明会の会場は東京が多かったので…。バイトも公務員試験に向けて早々に辞めていたので収入は無く、とうとう貯金がゼロに。でも、説明会にたくさん参加しておいて本当に良かったと思っています!興味深い話がたくさん聞けました。

●環境省を志望される方へのメッセージ

海ゴミ、再エネ、リサイクル…まだまだ環境課題はたくさんあります。環境問題に取り組みたい、という方にはとてもやりがいのある仕事です。説明会には他の省庁も含め、たくさん参加するべきです。説明会に行くと公務員を志望する理由やどの省庁が魅力的に感じるか考えるいい機会になり、志望度も高まります。また、説明会でも官庁訪問でも「ここで働きたい」と熱意をもって伝えることで、職員の方も「この人と一緒に働きたい」と感じてください。自分の意志をしっかり持ち、就職活動を頑張ってください。

●同期への印象



The マシンガン。(笑)
幅広いジャンルに精通しているので、とても話が面白いです。その場の雰囲気を一気に明るくするので、一緒に働くのが楽しみです!!

●同期からの印象

とにかく可愛い。1人しか一般職の同期がいないので、大事にしたいと思っています。きっと都会に染まってしまうんだろうなと思っているのと同時にそれもまた楽しみだなと思っている自分もいます。

